

第27回日本産業ストレス学会 大会企画書

大会長 三柴 丈典
副大会長 岩根 幹能
副大会長 長見まき子

1. 統一テーマ 「産業ストレスと法～多職種の共働による予防治務の確立に向けて～」

産業ストレス問題に企業などが注目した背景に、法の力がありました。もっとも、今に至るまで、一般に、関係者による予防治務の開拓は充分ではありませんでした。法律論は、主に起きてしまった事件の解決や犯罪の処罰を目的としていますが、予防治務は、事件の発生自体の予防を目的としており、産業精神保健の目的とも重なります。この大会では、これまでに積み重ねられてきた法律論の知見を基礎として、多職種が共働し、産業ストレスに関する予防治務をいかに構築するかについて、議論を深めます。その作業を通じて、法律論の専門家と産業ストレスの専門家の知的、人的な交流を図ります。

2. 日程

2019年11月28日(木) 16:00 編集委員会、18:00 常任理事会、20:00 理事会/会場準備 (PM)
2019年11月29日(金)～30日(土) 第27回大会、評議員会、総会/懇親会
2019年12月1日(日) 研修会

3. 会場

大会会場：大阪中央公会堂 大阪市北区中之島1丁目1-27 (淀屋橋)
懇親会場：スミレオオサカ 大阪市北区西天満2-1-18 中之島 LOVE CENTRAL (徒歩約5分)
研修会場(案)：大阪科学技術センター(本町)、大阪国際交流センター(谷町九丁目)

4. 主催：日本産業ストレス学会

共催：一般財団法人日本予防医学協会、一般社団法人産業保健法学会
後援：大阪府、大阪市、大阪労働局、大阪労働基準連合会、大阪産業保健総合支援センター、中央労働災害防止協会、大阪弁護士会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人大阪府医師会、公益社団法人日本精神神経科診療所協会、公益社団法人大阪精神科診療所協会、公益社団法人日本産業衛生学会、公益社団法人日本産業衛生学会近畿地方会、一般社団法人日本臨床心理士会、大阪府臨床心理士会、全国社会保険労務士会連合会、大阪社会保険労務士会、一般社団法人日本産業カウンセリング学会、一般社団法人日本産業カウンセラー協会、一般社団法人日本産業カウンセラー協会関西支部、公益財団法人産業医学振興財団、公益財団法人日本生産性本部、大阪商工会議所、関西産業健康管理研究協議会(全24団体)

5. 事務局

大会事務局：日本予防医学協会 西日本事業部内 第27回日本産業ストレス学会事務局
担当：野田 昇 E-mail: noda_noboru@jpm1960.org TEL: 06-6362-9042
運営事務局：近畿日本ツーリスト関西 関西 MICE 支店 第27回日本産業ストレス学会係
担当：渡邊 光 E-mail: jajsr27@or.knt.co.jp TEL: 06-6635-2627

6. 実行委員

(1) 顧問

茂松 茂人	大阪府医師会 会長
飯田 政信	大阪府社会保険労務士会 前会長
真室 光明	大阪府社会保険労務士会 会長

(2) 学術顧問

圓藤 吟史	中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 所長／大阪市立大学 名誉教授
神代 雅晴	日本予防医学協会 前理事長／産業医科大学 名誉教授
西村 健一郎	京都大学 名誉教授
福井 康太	大阪大学 大学院法学研究科 教授
森 晃爾	産業医科大学 教授

(3) アドバイザー

森口 次郎	京都工場保健会 (第 23 回京都の副大会長)
-------	-------------------------

(4) 実行委員会 (25 名)

井上 幸紀	大阪市立大学 大学院医学研究科
岩根 幹能	日本製鉄 和歌山製鉄所／NSメディカル・ヘルスケアサービス
鍵本 伸明	ナンバかぎもとメンタルクリニック
栗岡 住子	桃山学院教育大学 教育学部
小島 健一	鳥飼総合法律事務所
笹森 史朗	帝人フロンティア
左田野 正	大阪労働基準連合会
四方 久寛	大阪労災・労働法律事務所
島津 明人	慶應義塾大学 総合政策学部 教授
鈴木 純子	大阪産業保健総合支援センター
高橋 直己	日本予防医学協会
高原 龍二	大阪経済大学
長見 まき子	関西福祉科学大学 健康福祉学部
根本 忠一	日本生産性本部 メンタル・ヘルス研究所
野田 昇	日本予防医学協会
花谷 隆志	花谷心療内科クリニック
詫間 篤子	日本産業カウンセラー協会 関西支部
林 朝茂	大阪府医師会 (産業保健担当理事)
濱本 和孝	大阪安全衛生教育センター
三柴 丈典	近畿大学 法学部／産業保健法学研究会
水島 郁子	大阪大学 大学院高等司法研究科
森岡 利行	たすかるサポート森岡事務所
森岡 学	大阪産業保健総合支援センター
森崎 美奈子	京都文教大学 臨床心理学部 臨床心理学科
吉田 肇	天満法律事務所

7. プログラムとスケジュール

- 基調講演** AI時代に問う：人間とは何か、人間にとって発達とは何か
(市民公開講座) 座長 神山 昭男 有楽町桜クリニック 院長
(三柴) 座長 三柴 丈典 近畿大学 法学部 教授
60分 演者 正高 信男 京都大学 霊長類研究所 教授
- 大会長講演** (仮説)メンタルヘルス問題解決のレシピ
(三柴) ~6か国の比較法制度・学際研究を踏まえて~
60分 座長 川上 憲人 東京大学 大学院医学系研究科公共健康医学専攻 教授
演者 三柴 丈典 近畿大学 法学部 教授
- 特別講演①** 働き方改革と働く人の健康・福祉
(三柴) 座長 堤 明純 北里大学 医学部公衆衛生学講座 教授
60分 演者 水町 勇一郎 東京大学 社会科学研究所 教授
- 特別講演②** JR西日本における働きがい向上とメンタルヘルスケアの取り組み
(三柴) 座長 圓藤 吟史 中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合センター 所長
60分 演者 佐伯 祥一 西日本旅客鉄道 鉄道本部駅業務部長
- 特別講演③** これからの働き方を考える：主体的労働と産業ストレス
(長見) 座長 長見 まき子 関西福祉科学大学 健康福祉学部 教授
60分 演者 島津 明人 慶應義塾大学 総合政策学部 教授
- 教育講演①** 最近の労働衛生行政の動向について
(岩根) 座長 石和田 隆之 大阪労働局 健康課長
60分 演者 井内 努 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 労働衛生課長
- 教育講演②** 労働者側弁護士が説く労働訴訟の実際
(小島) 座長 小島 健一 鳥飼総合法律事務所 弁護士
60分 演者 小川 英郎 ウェール法律事務所 弁護士
- 教育講演③** 就労と精神疾患・休職（復職）・自死をめぐる法的問題
(井上) 座長 井上 幸紀 大阪市立大学 大学院医学研究科神経精神医学 教授
60分 演者 波多野 進 同心法律事務所 弁護士
- 教育講演④** 職場のメンタル不調は、なぜ治りにくいのか？
(岩根) ~「診断名」ではなく「発症文脈」で理解し、「治す」のではなく「解決する」~
60分 座長 岩根 幹能 日本製鉄 和歌山製鉄所 産業医
演者 花谷 隆志 花谷心療内科クリニック 院長

メインシンポジウム ディベート モギ裁判

(吉田)

120分

「親の愛情に恵まれなかった女性企業内弁護士の退職措置と法～パーソナリティ障害の疑いのある社員の休職、復職判断と主治医、産業医の見解相違」

座長 吉田 肇 天満法律事務所 弁護士

演者1 使用者側弁護士 野口 大 野口&パートナーズ法律事務所 弁護士

演者2 専属産業医 岩根 幹能 日本製鉄 和歌山製鉄所 産業医

演者3 労働者側弁護士 四方 久寛 大阪労災・労働法律事務所 弁護士

演者4 精神科主治医 花谷 隆志 花谷心療内科クリニック 院長

シンポジウム①

(花谷)

120分

発達障害を疑う社員に対する仕事を円滑にするための職場での配慮

座長 栗岡 住子 桃山学院教育大学 教授

座長 花谷 隆志 花谷心療内科クリニック 院長

演題1 人事・労務及び管理職の立場での配慮

窪 貴志 エンカレッジ

演題2 専属産業医からの配慮

河津 雄一郎 平和堂 統括産業医

演題3 産業保健スタッフの配慮

宗像 かほり 日本メジフィジックス 保健師

演題4 レクチャーと提言

小島 健一 鳥飼総合法律事務所 弁護士

シンポジウム②

(笹森)

120分

ハラスメントの本質と実効的対策

座長 笹森 史朗 帝人フロンティア 総務部長

演題1 カウンセラーの立場から

吉田 郁子 V I C E O南青山カウンセリングオフィス 代表

演題2 産業医の立場から

川瀬 洋平 三菱ケミカルホールディングス 産業医

演題3 弁護士の立場から

吉田 肇 天満法律事務所 所長 弁護士

シンポジウム③

(根本)

日本予防医学協会
寄付講座

120分

ストレスチェックの集団分析結果の職場環境改善への活用

座長 根本 忠一 日本生産性本部メンタル・ヘルス研究所 特別研究員

演題1 医療側そして産業現場から見たストレスチェック活用上の課題

赤津 順一 日本予防医学協会 理事

演題2 労働組合から見た企業現場の課題とストレスチェック

横沢 亮二 富士ゼロックス労働組合 書記長

演題3 治療から予防、そして組織の活性化へ、新しい産業医のかかわり方

鍵本 伸明 ナンバかぎもとメンタルクリニック 院長

演題4 心理職をストレスチェック・職場改善にどう生かすか

小川 邦治 西南学院大学 准教授

演題5 集団分析の有効活用のためのポイントの整理

根本 忠一 日本生産性本部メンタル・ヘルス研究所 特別研究員

シンポジウム④	法の知見に基づく適切な記録の残し方
(栗岡)	～法務・人事担当者・産業医・産業看護職・心理職の記録を見直す～
学会指定企画 1	座長 三木 明子 関西医科大学／本学会 産業看護職委員長
産業看護	吉田 麻美 東北電力 保健師
120 分	演題 1 産業保健活動における記録の法的な留意点について 村本 浩 岩谷・村本・山口法律事務所 弁護士
	演題 2 事業所での健康障害に係る個人情報の取扱について 青山 恵則 島津製作所 人事部 部長
	演題 3 事業所内での上司・同僚からの相談記録の実際について 鈴木 雅子 NTT データ 課長代理(産業看護職)
	演題 4 産業医と産業看護職との記録に関する連携とすみ分け 櫻木 園子 京都工場保健会 産業医
	演題 5 事業所内での活動記録の実際について 春藤 行敏 ダイハツ工業 安全・健康推進室保健センター 臨床心理士
シンポジウム⑤	職場のメンタルヘルス対策に関わる専門職の連携力をめぐって
(高原)	～効果的な連携に役立つセンスとスキルとは～
学会指定企画 2	座長 神山 昭男 有楽町桜クリニック 院長
多専門職・機関等	高原 龍二 大阪経済大学 准教授
連携委員会	演題 1 主治医の立場 小山 文彦 東邦大学 産業精神保健・職場復帰支援センター(佐倉)
産業心理職委員会	センター長・教授
合同	演題 2 産業医の立場 森口 次郎 京都工場保健会 理事
120 分	演題 3 企業内部の公認心理師の立場 島津 美由紀 ソニーコーポレートサービス 産業保健部 臨床心理士
	演題 4 EAP の公認心理師の立場 大庭 さよ 神田東クリニック／MPSセンター MPSセンター長
	演題 5 法律家の立場 佐久間 大輔 つまこい法律事務所 弁護士
ワークショップ①	社労士が関わる中小企業のメンタルヘルス
(今井)	座長 今井 憲之 大阪府社会保険労務士会 副会長
90 分	演題 1 メンタルヘルス向上に向けた取組例～社会保険労務士としての役割～ 森岡 利行 たすかるサポート森岡事務所 特定社会保険労務士
	演題 2 中小企業のメンタルヘルスに関わる嘱託産業医の限界と社労士への期待 長井 聡里 JUMOKU 代表取締役 産業医
	演題 3 企業におけるメンタルヘルスへの取組みと課題 植村 耕幸 ダイセイ 取締役管理本部長
	演者 4 中小企業におけるメンタルヘルス対策の現状と課題 朝生 万里子 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 特定社会保険労務士
	指定発言 産業医と社労士が一歩ずつ踏み込む企業の健康づくり 森本 英樹 森本産業医事務所 代表 産業医・社会保険労務士

ワークショップ②	不調者を生みにくい人材の採用と配置
(根本)	座長 根本 忠一 日本生産性本部メンタル・ヘルス研究所 特別研究員
90分	演者1 企業人事の視点から 青山 恵則 島津製作所 人事部 部長 演者2 企業の産業看護の視点から 黒田 和美 田辺三菱製薬 産業看護職 演者3 法の視点から 小島 健一 鳥飼総合法律事務所 弁護士 演者4 キャリアの視点から 浅野 衣子 キャリア開発サポーターズ 代表 演者5 学生支援の視点から 杉原 保史 京都大学 学生総合支援センター 教授
心理専門職交流会	産業心理職委員会 第1回心理専門職交流会
(長見)	座長 馬ノ段 梨乃 ヘルスウエイブ京都産業メンタルヘルスセンター
60分	座長 松浦 真澄 東京理科大学工学部 准教授 First Catering ?
ランチョンセミナー	「タイトル未定」
① (井上)	座長 井上 幸紀 大阪市立大学 大学院医学研究科神経精神医学 教授
60分	演者 勝元 榮一 かつもとメンタルクリニック 院長 共催 ファイザー
ランチョンセミナー	「タイトル未定」
② (岩根)	座長 西 賢一郎 ジャトコ 安全健康管理部 統括産業医
60分	演者 山本 誠 ヤマハ 健康管理センター 産業医 共催 Eパートナー
ランチョンセミナー	産業保健を推進するための新たな法学会の設立に向けて
③ (三柴)	～産業保健法学会設立準備報告会～ (仮題)
60分	座長 田中 克俊 北里大学 大学院医療系研究科 産業精神保健学 教授 演者 三柴 丈典 近畿大学 法学部 教授 共催 日本予防医学協会・産業保健法学会研究会
ランチョンセミナー	「タイトル未定」
④ (岩根)	座長
60分	演者 共催 ジャパンEAPシステムズ
一般演題	最大32題
(島津)	優秀演題賞設定 選考委員メンバー
410分	島津 明人 常任理事、心理学 堤 明純 副理事長 (研究推進担当)、公衆衛生学 三木 明子 理事、看護
懇親会	バンケットホール SUNSHINE 募集100人 (最大収容人員120人)
(長見)	マグロ解体ショー (株式会社アーマリン近大)、たこ焼き屋台、
120分	うどん屋台 (つるとんたん)

第27回日本産業ストレス学会スケジュール(0日目)

11月28日(木)

0日目	A会場	B会場	C会場	D会場	展示	展示	託児所	受付	クローク	
部屋	大集会室 1F 大集会室 2F	中集会室(3F)	小集会室 (3F)	大会議室 (B1F)	特別室 (3F)	第6-8 会議室 (2F)	第9 会議 室 (2F)	表玄関 ホール	第5 会議 室	
人数	810 351	300	150	84	10.3× 15.7m	13.0× 6.3m	4.3× 6.1m		4.7× 6.4m	
8:00	早朝申込時間帯						早朝	早朝	早朝	
9:30	午前						全日	午前 ・ 午後	午前	
12:00										
13:00	午後 セッティング	TV中継 セッティング	セッティング	セッティ ング	搬入	搬入				午後
16:00			編集委員会							
17:00										
18:00	夜間		常任理事会					夜間	夜間	
19:00			理事会							
21:00										
21:30										

午後・夜間全館借り上げ

第27回日本産業ストレス学会スケジュール(1日目)

11月29日(金)

1日目	A会場	B会場	C会場	D会場	展示	展示	託児所	受付	クローク
部屋	大集会室 1F 大集会室 2F	中集会室(3F)	小集会室 (3F)	大会議室 (B1F)	特別室 (3F)	第6-8 会議室 (2F)	第4 会議 室 (B1F)	表玄関 ホール	第5 会議室
人数	810 351	300	150	84	10.3× 15.7m	13.0× 6.3m	4.5× 6.8m		4.7× 6.4m
8:00									
9:00	開会式 10分								
9:10	ワークショップ② 採用(根本) 90分	ワークショップ① 社労士(森岡) 90分	一般演題 160分	一般演題 160分					
10:40	休憩 10分	休憩 10分	10題	10題					
10:50	教育講演① 厚労省 神ノ田	特別講演① 改革 水町 60分	残 10分	残 10分					
11:50	10分	休憩 10分	休憩 10分	休憩 10分				受付	
12:00	60分	ランチョン① ファイザー	ランチョン② Eパートナー	評議員会 60分	企業 展示	書籍 展示	託児 所		ク ロ ー ク
13:00	10分								
13:10	大会長講演 三柴 60分	TV中継							
14:10	休憩 10分								
14:20	メインシンポ モギ裁判 (吉田) 120分	TV中継							
15:30									
16:20	休憩 10分								
16:30	基調講演(市民公 開) 正高 60分	TV中継						市民公 開講座 受付	
17:30	移動 30分								
18:00 ~ 20:00	懇親会「スマレオオサカ」大阪府大阪市北区西天満 2-1-18 中之島 LOVE CENTRAL								

*各会場と講師控室は距離があり、導線を考えた誘導が必要

*A会場は飲食禁止(ランチョンセミナーはNG)

*展示室は利用不可

第27回日本産業ストレス学会スケジュール(2日目)

11月30日(土)

2日目	A会場	B会場	C会場	D会場	展示	展示	託児所	受付	クローク
部屋	大集会室 1F 大集会室 2F	中集会室(3F)	小集会室(3F)	大会議室 (B1F)	特別室 (3F)	第6-8 会議室 (2F)	第4 会議室 (B1F)	表玄関 ホール	第5 会議室
人数	810 351	300	150	84	10.3× 15.7m	13.0× 6.3m	4.5× 6.8m		4.7× 6.4m
8:00									
9:00	シンポ① 発達障害 (花谷) 120分	シンポ② ハラスメント (笹森) 120分	シンポ⑤ 多専門職 (高原) 120分	一般演題 190分 12題 残10分	企業 展示	書籍 展示	託児 所	受付	ク ロ ー ク
11:00	休憩10分	休憩10分	休憩10分						
11:10	特別講演② JR西 佐伯 10分	教育講演② 労働訴訟 小川 休憩10分	教育講演③ 就労 波多野 休憩10分						
12:10	60分	ランチオン③ 日予 60分	心理専門職 交流会 ランチオン④ JES						
12:20	10分	移動10分	移動10分	移動10分					
13:20	10分								
13:30	総会 表彰式・受賞講 演 90分	TV中継?							
15:00	シンポ③ SC 職場改善 日予 120分(根本)	シンポ④ 記録 120分(栗岡)	教育講演④ 花谷 特別講演③ 28 大会長 島津						
17:00	閉会式								

8. 予想参加者数

	2014年22回大会 実績 大阪国際交流センター	第26回大会 実績 一橋講堂	第27回大会 予測 大阪市中央公会堂
学会員 (事前)	120人	211人	350人
学会員 (当日)	60人	81人	150人
非学会員 (事前)	324人	300人	150人
非学会員 (当日)	159人	175人	100人
学生 (事前)	38人	55人	30人
学生 (当日)	11人	25人	20人
合計	712人	841人	800人

第26回の懇親会参加者数は事前88人、当日25人の合計113人

9. 参加費と見込み収入

参加区分	事前登録	当日登録
学会員	6,000円×350人=210万円 (昨年と同じ)	9,000円×150人=135万円 (昨年と同じ)
非会員	9,000円×150人=135万円 (昨年と同じ)	12,000円×100人=120万円 (昨年と同じ)
学生 (大学院生含む)	2,000円×30人=6万円 (昨年と同じ)	3,000円×20人=6万円 (昨年4,000円)
懇親会	6,000円×80人=48万円 (昨年4,000円)	10,000円×10人=10万円 (昨年5,000円)

参加費合計612万円、懇親会合計58万円

10. 単位申請先

日本医師会認定産業医制度研修単位 (更新・専門)
 日本医師会・生涯教育単位
 日本臨床心理士資格認定ポイント
 日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度 研修単位

11. 今後のスケジュール

2019年6月 一般演題募集準備 募集期間6月3日(月)～7月1日(月)
 2016年6月 抄録集作成開始
 2019年7月末 シンポジウム抄録締切り
 2019年8月 一般演題採否審査、カテゴリー分け、座長決定
 大会スケジュール確定
 2019年8月末 抄録集のまとめ
 2019年9月 抄録集 初校
 2019年10月15日 抄録集 最終校
 2019年11月14日 抄録集 発送

以上